

親愛こども園 施設自己評価

実施月: 2026年5月

No.	評価項目	スコア
1	基本的理念と社会的責任	3
1 - 1	子ども一人ひとりが安心感と信頼感をもって、いろいろな活動体験を積み重ねられるよう、配慮している	3
1 - 2	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し計画を立て、保育を行っている	3
1 - 3	子どもの主体的な活動を促し、意欲をもって活動できるような援助を日々行っている	3
2	保育の配慮事項	3.25
2 - 1	子どものその時々のお気持ちを受けとめて保育を行うよう日々配慮している	4
2 - 2	子どもに分かりやすい言葉で優しく、穏やかに、話しかけている	3
2 - 3	園内や保育室など、子どもが安心できる雰囲気を作ることを心掛けて環境を構成している	3
2 - 4	個人情報の取り扱いや、守秘義務の重要性を理解し、適切に対応している	3
3	計画・評価・育ちの見通し	3.33
3 - 1	全体的な計画、年間指導計画により、長期的な見通しをもち、職員で共有し、日々保育を行っている	3
3 - 2	保育目標やねらいをベースに、各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画を策定している	4
3 - 3	子どもの実態や状況の変化に応じ、保育を振り返り、子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画の見直し改善を行っている	3
4	特別支援・障がい児保育	3
4 - 1	障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立案している	3
4 - 2	園内外問わず、研修等を通じて障害児保育に必要な知識を得ている	3
4 - 3	障がいのある子どもの保護者と話す場を定期的に設け、信頼関係の構築に努めている	3
5	乳児・1～3歳未満児のねらいと内容	3.57
5 - 1	発達に応じた行動を自発的に行えるよう環境を整え、遊びを通して身体の発達を援助している	4
5 - 2	生活や遊びの中で、音・形・色・手触りなどに気づかせて、いろいろなものに触れさせている	3
5 - 3	発声や喃語を優しく受け止めたり、子どもの声に耳を傾け、応えることで言葉の理解や発語の意欲を育てている	4

5 - 4	子どもが自分でやろうとする、出来るようになろうと頑張る主体的な気持ちを尊重している	4
5 - 5	自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする経験を重ねていけるよう援助している	4
5 - 6	音楽、リズムなどに親しみ、歌や手遊び、全身を使う遊びを取り入れている	3
5 - 7	絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている	3
6	3歳以上児のねらいと内容	3.43
6 - 1	生活に必要な基本的な習慣や態度が身につくよう、目標やねらいに基づいて保育している	4
6 - 2	生活や遊びの中で、意欲、自信、自己肯定感を持てるように声掛け、働きかけを行っている	3
6 - 3	子どもが自分の体験や要求を自分なりに表現できるように声掛け、働きかけを行っている	4
6 - 4	自然と直接触れ合う遊びを季節に合わせて取り入れている	3
6 - 5	園生活の中で数量や図形、文字に触れる機会を取り入れている	3
6 - 6	十分に体を動かす気持ちよさを体験し、自ら身体を動かそうとする意欲が育つよう援助している	3
6 - 7	音楽に親しみ、歌ったり踊ったりする楽しさを味わう機会を作っている	4
7	健康支援	4
7 - 1	子どもの日々の健康状態を把握しそれを一人ひとりの保育に生かしている	4
7 - 2	食物アレルギー児への対応として給食室と保育室で連携してチェックリストを作るなど誤食が起きないように努めている	4
7 - 3	不適切な養育の兆候や虐待が疑われる場合には、関係機関と連携、相談している	4
8	食育の推進	3.33
8 - 1	食事の際、子ども同士が楽しんで食べられる雰囲気づくりに配慮し、食べる意欲が育つように工夫している	3
8 - 2	乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えている	4
8 - 3	食べ物を残したり偏食したりする時など過度に叱ることがないように心掛けている	3
9	安全管理	3.33
9 - 1	事故防止や安全管理に対する園のマニュアルなどを理解し、実践している	2
9 - 2	園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検している	4

9 - 3	これまで園内で起こった事故およびヒヤリハットを理解し、定期的に報告、共有をしている	4
10	環境・衛生管理	3. 67
10 - 1	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地良く過ごせるよう十分な対応が来ている	3
10 - 2	子どもが活動しやすい様に室内の温度、湿度、換気、採光などを適宜調整している	4
10 - 3	一人一人の子どもの服装、頭髪、爪などを定期的にチェックし、異常があった場合は職員間で共有している	4
11	災害対策	2. 67
11 - 1	園の災害対応マニュアルの内容を十分に理解している	2
11 - 2	保護者との連絡体制や引き渡し方法のルールが明確で、それらを十分理解している	3
11 - 3	消火器、配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている	3
12	家庭との連携（在園児）	3. 33
12 - 1	保護者のお迎え時、活動内容を伝えるだけではなく、学びや成長の変化を伝えることが来ている	3
12 - 2	保護者が、子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在となれるよう心掛け、対応している	3
12 - 3	日頃より保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	4
13	家庭との連携（地域）	3. 33
13 - 1	園の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかけるなど、地域交流できる機会を確保している	3
13 - 2	地域住民から受けた子育て相談の内容について連絡、相談する外部の関係機関を把握している	3
13 - 3	中高生や施設訪問等を通して様々な人とふれあう中で、乳幼児が楽しく、充実感を味わえるような配慮や工夫を行っている	4
14	職員の資質向上	3. 33
14 - 1	園内・外で行われる研修や会議に積極的に参加し、資質向上を図っている	4
14 - 2	研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させている	3
14 - 3	個人の自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる	3
15	仕事への姿勢	3. 6
15 - 1	保護者や子どもに笑顔で挨拶し、気持ちのよい受け入れをしている	4
15 - 2	保育者自身が一緒に体を動かしながら、楽しんで保育をしている	3

15 - 3	保護者からの相談を一人で抱え込まないで、園全体で受け止めるよう課題共有に努めている	4
15 - 4	職員間の「報告・連絡・相談・確認」で連携を取り、園としての保育対応に努めている	3
15 - 5	委員会活動、係分担などチームワークを組んで、助け合って保育を進めている	4

